

## ■経済協定批准 フィリピン国民不信で難航■

フィリピン人看護師や介護福祉士に日本で  
の就労の道を開く「日比経済連携協定(EPA  
A)」のフィリピン側批准手続きが難航し、  
発効のメドが立たない状況に陥っている。日  
本向け介護福祉士育成に早くから取り組ん  
できたフィリピン南部ミンダナオ島ダバオ市で  
は、日本語や介護技術を学ぶフィリピン人学  
生や介護福祉士の間で困惑と動揺が広がっ  
ている。

【ダバオ市で大澤文護、写真も】



「介護の日本語」の授業を受けるミンダナオ  
国際大学の学生たち(9月、ダバオ市)

# 戸惑う介護福祉士

◇待つ人々

ダバオ市にある「ミンダ  
ナオ国際大学」は02年、特  
定非営利活動法人(NPO)  
「日本フィリピンポランテ  
ィア協会」の協力で創立さ  
れた。日本の外国人介護労  
働者受け入れを見越して福  
祉学部を設け、実践的な「介  
護の日本語」を授業に取り  
入れて優秀な介護福祉士の  
育成を進めてきた。

同ホームのセクション所  
長は「介護福祉士の多くは  
海外で働き家族を支えたい  
度を受けている。4カ月前  
に同ホームに来たダイナロ  
ス・カフグアスさん(29)と  
ジェシカ・マミテスさん  
(32)は「家族に(生活費不  
足を)我慢してもらいなが  
ら無償ボランティアを続  
ける。2人は日本行きを希  
望している。」

協定発効の見通しが立た  
ず、介護福祉士をたたちに  
日本に送り出すことのでき  
ない現状を踏まえ、「介護  
の日本語を教えることので  
きるフィリピン人語学教師  
の育成にも力を入れている  
(学校関係者)という。

ダバオ市が運営する老人  
ホーム「コスギアン」では、  
海外を目指す介護福祉士が  
介護技術を磨くためにボラ  
ンティアとして活動する制

## 日本行きの夢 黄信号

と願っている。日本との協  
定発効が遅れば関心は別  
の国に移る」と指摘する。

◇変心  
エンターテイナーとして  
日本で働いた経験を持つ女  
性たちの中には、介護福祉  
士として再び日本に渡ること  
を夢見る人もいる。エバ  
・スピザさん(38)は94年か  
ら05年にかけて、たびたび日  
本で働いた。EPA交渉の  
進展を知り、ダバオ市内の  
要求された。しかし、いつ取  
得できるのか連絡はない。  
「やはりだまされている  
のでしょうか」

ダバオ市内の老人ホーム  
で研修中の20代の女子学生  
は、「日本の大企業で働い  
たい。日本行きのビザを  
用意できる」と接近してき  
た人物に250万を渡し  
、ビザを待つうち「5年  
間の居住ビザが取れそう  
だ」と追加料金120万を  
要求された。しかし、いつ取  
得できるのか連絡はない。  
「やはりだまされている  
のでしょうか」

◇発効の道のり遠く  
昨年9月のEPA合意  
後、地元環境団体が「関税  
撤廃対象品目に有害廃棄物  
が含まれている。日本がフ  
ィリピンの看護師や介護福  
祉士を受け入れる代わり  
に、フィリピンは廃棄物の  
受け入れを認めることにな  
る」と主張、国民の間でE  
PAへの不信が広まった。

協定批准をめぐる9月中  
旬に始まった上院外交、貿  
易通商両委員会は結論を出  
さないまま休会した。再開  
は11月上旬だ。フィリピン  
各紙は「上院委員会は協定  
再協議を求める報告書を政  
府に提出することになるだ  
ろう」と報じ、協定の批准  
可能性を示唆した。

協定批准をめぐる9月中  
旬に始まった上院外交、貿  
易通商両委員会は結論を出  
さないまま休会した。再開  
は11月上旬だ。フィリピン  
各紙は「上院委員会は協定  
再協議を求める報告書を政  
府に提出することになるだ  
ろう」と報じ、協定の批准  
可能性を示唆した。